

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～



No.33 2025. 10. 29 校長 川上 誠治

いつもありがとうございます。

感謝しています。

No.32のつづきです！！



実は今年の5月の職員会議で『運動会の総合得点をどうするのか？』について話し合いました。そのときに子どもたちが考えた今年度のスローガン

『勝ち負けなんてどうでもいい！！限界まで！！』を大切にして、今年度も総合得点化はやめておくことにしました。

しかしPTA役員さんをはじめ保護者の中から子どもたちに別の声(総合得点化)もあるときいたので子どもたちの声をききたいと考えています！！

そこで保護者のみなさんに下記の5つのことのご理解とご協力をお願いします(よろしく願います)！！

【1】一人残らず『いいね』と言える答えを見つける！！



学校は子どもたちにとって何が一番大切なのかを話し合い、その結果が総合得点をなくすということでした。だから多数決で終わりとするのではなく、一人残らず『いいね』と言える答えを見つける努力をするということをご理解ください(この過程は文科省の問題を発見・解決する力につながります)！！

【2】異なる価値観を持つ多様な他者と、当事者意識を持つ！！



もし総合得点化に賛成なら、総合得点化に反対の人(異なる価値観を持つ多様な他者)がなぜ反対なのかを考えてほしいのです！！逆に総合得点化に反対なら、総合得点化に賛成の人がなぜ賛成するのかを考えてほしいのです！！できればその人になりきって(当事者意識)考えてほしいです！！



【3】対話を行う！！

No.32をもとにお子さんと対話をお願いしたいのです。できればみなさんがお子さんと反対の立場になっていただいて、一人残らず『いいね』と言える答えを子どもたちから引き出してほしいのです(この力は生きる力であり、いま求められている学力です！！)！！



【4】文章を書かせる(書いてもらう)！！

子どもたちに自分の思いや考えをこの学校だよりのウラに書かせてください(書くことは考えることです)！！みなさんの書いたものは共有させてください！！とにかく(?)一人残らず『いいね』と言える答えを見つけるまで考えたいのです！！

【5】持続可能な社会の創り手となるように！！

このあと子どもたちにアンケートをとります。子どもたちの書いたもの、アンケート結果(子どもたちの声)を大切にして教職員で話し合い、運動会の総合得点化をどうしていくのかを決めていきます！！



校長チャレンジNo.13【 】年名前【 】

うんどうかい そうごうとくてん かんが き
**運動会の総合得点についてあなたの考えを聞
かせてください！！**

か こうちやうしつ
書けたら校長室(川上)までもってきてください！！

